

プレスリリース

ベルギーのサーカス・カルテット

Le Carré Curieux (カレ・キュリユー) の

Cirque Vivant!
シルク・ヴィヴァン!



2012年2月2日(木)～5日(日)

あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術センター)

主催:アフタークラウディカンパニー(ACC)

共催:あうるすぽっと(公益財団法人としま未来文化財団)

NPO 法人国際サーカス村協会

助成: Wallonie-Bruxelles International

後援:ベルギー大使館

協賛:ゴディバ ジャパン株式会社/八丈島料理はっとり

制作:ACC



お問い合わせ

株式会社アフタークラウディカンパニー(ACC)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-28-5 コーポ葵 402

tel: 03-3403-0561 fax: 03-3403-1583

info@accircus.com <http://www.accircus.com>

Cirque Vivant!

シルク・ヴィヴァン!



ベルギーのサーカス・カルテット **Le Carré Curieux** (カレ・キュリユー) による、『**Cirque Vivant!**』(シルク・ヴィヴァン!)の公演を、2012年2月、池袋の劇場あうるすぽっとにて、行います。

「サーカスが紡ぐ、4人の若者達による心あたたまる共同生活。」

この作品では、ある奇妙な空間に住む若者たちが共同生活を営むなかで、サーカスを通じて織りなす不思議なふれあいを、ユーモアたっぷりに描きます。無数のボールが舞台を駆け回るジャグリング、空中アクロバット、チャイニーズポール、一輪車など、さまざまな曲芸と悪戯を駆使し、ウィットに富んだ舞台を繰り広げます。またクラシックバレエ、旋回舞踊、コンタクトインプロヴィゼーションなど、様々なダンスの要素を取り入れた洗練されたアクロバットも必見です。コミカルな演出の中に、暖かく柔らかな時間が流れていきます。私たちが今もっとも大切にしたい、人の居場所、人との信頼、そして深い絆を大切にしたい心あたたまる舞台です。幼児からお年寄りまで、3世代にわたり楽しんで頂ける作品です。

Le Carré Curieux (カレ・キュリユー)

伝統的なサーカスとは一線を画した、またシルク・ドゥ・ソレイユとも違った、ダンスや演劇の要素が色濃い現代的なサーカスの公演が、フランス、ベルギーを中心に西欧では盛んに行われています。**Le Carré Curieux** はブリュッセルのサーカス学校で出会った、4人の若いアーティスト達によって2006年に結成されました。お互いに異なるバックグラウンドをもちながらも、サーカスを通じて意気投合し、創作を始め、その高度な技術と、柔軟でユーモア溢れるセンスによって作られた作品は、ヨーロッパ各国や上海万博などで、好評を博しています。

プレスから

サーカスが生まれ変わった!

(Courrier de l' Escaut 09年2月13日)

奇妙な広場 (carré curieux) で展開される、

息をのむアクロバット (la Libre Belgique 09年9月28日)

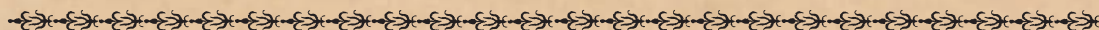


ベルギーから衝撃的で新しいスペクタクル! 時にはヴィルトゥオーソ (達人) となり、時にはいたずらっ子となる、四人の男性の人生の旅。(La Terrasse 2010年4月)

愛すべき自然体のパフォーマンス

たんにテクニックを見せるだけではない。それが『シルク・ヴィヴァン！』の4人の個性だ。サーカスとかアクロバットとか演劇などというジャンル分けなどが消えてなくなる地平。そこに奇妙で、ゆるやかで、愛すべき自然体のパフォーマンスが現れる。しかし、この肩肘張らないアクションのなかに、静かな挑戦と意気込みが隠されている。客席に座った瞬間から、子供からお年寄りまでわけへだてなく、この若者たちの共同生活に参加することになる。彼らはみな独立心がつよく、子供のように好奇心にあふれ、さまざまなことに自分流にチャレンジする。そこに展開する組んずほぐれつの駆け引きと絡み合い。それぞれの素晴らしいテクニックは個々のパーソナリティを引き立て、同時に不思議に統一感のある流れをつくる。体感をとおした人とのつながりが希薄になってしまったデジタルの時代。彼らを見てみると、大人たちがどこかに忘れてきてしまった稚気とイタズラ心を啓発してこそ、まざりけのない創造性が生まれてくると感じられるはずだ。『シルク・ヴィヴァン！』とは、そんな時間と空間をシェアする楽しみのことなのである。

石井達朗（舞踊評論家）



01



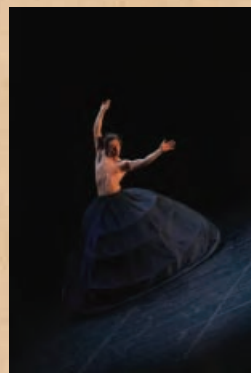
02



03



04



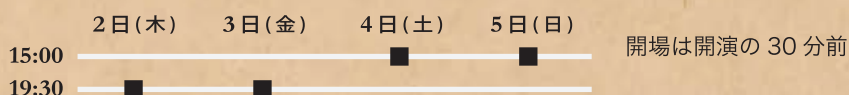
05

公演概要

<カンパニー名> Le Carré Curieux (カレ・キュリユー)

<公演タイトル> Cirque Vivant! (シルク・ヴィヴァン!)

◆ 公演日程：2012年2月2日(木)～5日(日)



◆ 会場：あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術センター)

電話：03-5391-0751 JR 他「池袋駅」東口より徒歩10分、
東京メトロ有楽町線「東池袋駅」6・7番出口より直結

◆ 料金：全席指定席

一般 前売 5,500 円 当日 6,000 円

中学生以下 前売 3,000 円 当日 3,500 円

◆ チケット発売日：2011年11月14日(月)

<一般発売> 11月14日(月)

<取り扱い> ローソンチケット 電話：0570-084-003 (Lコード 36069)
カンフェティ 電話：0120-240-540 <http://confetti-web.com>
あうるすぽっとチケットコール 電話：03-5391-0516
ACC 電話：03-3403-0561 ticket@accircus.com

お問い合わせ

アフタークラウディカンパニー (ACC)

電話：03-3403-0561 info@accircus.com <http://www.accircus.com>

画像データ、映像などお問い合わせ下さい。

作・出演：Le Carré Curieux

(Luca AESCHLIMANN / Vladimir COUPRIE / Gert DE COOMAN / Kenzo TOKUOKA)

演出：Philippe VANDE WEGHE

照明・音響デザイン：Nicolas DIAZ

音楽：Mark DEHOUX & Sofiane REMADNA

舞台美術・衣装：Benoit ESCQRMELLE & Aline BREUCKER

<日本側スタッフ>

照明：松田充博 音響：越川徹郎

舞台監督：川俣勝人 宣伝美術：辻卓也 (ACC)

本公演は2012年2月11日(土・祝)に<富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ>(埼玉県富士見市)でも公演を行います。こちらの公演の詳細は<きらり☆ふじみ>まで 電話：049-268-7788